

敦賀気比保健だより

令和元年10月発行

保健室

(寒くなってきましたね。あんなに暑かった夏の日が恋しい)…と去年は書きました！ところが、今年ときたら、まだ夏物が片付けられず…でも、ウイルスは例年以上に早く到来の予感。



京都市では、9月にすでに学級閉鎖も。気候が温暖でも、油断禁物です。

インフルエンザ予防接種の計画は10月から！

予防の基本は、流行前に予防接種を受けることです。これは世界で認められている最も有効な予防法です。

★予防接種の効果は？

- ・ワクチンを接種しなかった人100人のうち30人がインフルエンザを発病（発病率30%）
→ ワクチン有効率 = $\{(30 - 12) / 30\} \times 100 = (1 - 0.4) \times 100 = 60\%$

ワクチンを接種しなかった人の発病率（リスク）を基準とした場合、接種した人の発病率（リスク）が、「相対的に」60%減少しています。すなわち、ワクチンを接種せず発病した方のうち60%（上記の例では30人のうち18人）は、ワクチンを接種していれば発病を防ぐことができた、ということになります。現行のインフルエンザワクチンは、接種すればインフルエンザに絶対にかからない、というものではありません。しかし、インフルエンザの発病を予防することや、発病後の重症化や死亡を予防することに関しては、一定の効果があるとされています。

★いつ接種したらいいの？

今年は流行が早いといわれており、10月下旬～11月初旬に受ける方がいいかもしれません。少なくとも、12月初旬までに接種を終えるようにしましょう。

★昨年、予防接種をしたけど、今年もする必要ある？

インフルエンザワクチンは、そのシーズンに流行することが予測されると判断されたウイルスを用いて製造されています。予測がはずれても、全く効果がないわけではありません。また、ワクチンの効果は5ヶ月しか持続しません。



歯の治療は済みましたか？むし歯は自然に治りません。再度のお知らせをしています。

気比高校の皆さんに聞きました。治療しない理由は何ですか???

1位	時間の都合がつかない	➡	テスト週間を利用しましょう。
2位	これから行く予定	➡	早めに行こうね。
3位	忘れていた	➡	もう、思い出したよね！
4位	怖い、痛そう、病院が苦手	➡	放置すると、もっと痛いよ！
	めんどろ	➡	気持ちはわかる…、でも行こう。
5位	必要を感じない	➡	むし歯は全身病を招きます。必要です。
6位	治療費がもったいない	➡	早く行かないと、もっと高くなるよ！
	親や先生が行かなくていいと言った。	➡	いやいや、親や先生を説得しよう。